

令和4年度製造基盤技術実態等調査
(繊維産業における新事業組成に向けた調査)
調査報告書

2023年2月28日

凸版印刷株式会社

事業概要

事業概要	4
------	---

事業実施内容

ファッションビジネスフォーラム2023	6
繊維産地サミット	7-10
次代を担う繊維産業企業100選 選定証授与式	11-12
パネルディスカッション	13-14

アンケート調査結果

アンケート① 原稿（表）	16
アンケート② 原稿（裏）	17
アンケート③ WEBフォーム	18
アンケート④ 集計結果	19-28

事業概要

1. 目的

国内人口減少や高齢化の進展による人口構成の変化、世界的なサステナビリティへの関心の高まり、デジタル化の加速など、繊維産業を巡る環境は大きく変化している。

加えて昨今では新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの繊維産業関連企業の売上が落ち込むなど、状況は厳しさを増している。

繊維産業が今後成長、発展するためにはこうした変化に遅滞なく対応することが求められている。

そうした中で、繊維産業においては新たなビジネスモデルを創出し、産地企業の稼ぐ力を向上させ、また新しい発想・商品開発により、新市場の獲得や産業変革を進めることが有効であると考えられるが、地域内など限られた相手との取引を中心とする商慣習等から、企業や業種を越えた連携が進まず、新たな付加価値を創出する動きが限定的となっている。

こうした状況を踏まえ、本調査では、ファッション・ビジネス・フォーラムを開催し、新たなビジネスモデルの創出や繊維産地の稼ぐ力の向上、繊維産地間の連携強化、及び繊維企業の新たな取組を後押しすることで、繊維産業の活性化を図ることを目的とする。

2. 調査内容

■ ファッション・ビジネス・フォーラムの開催を通じた繊維産業企業の実態調査

繊維企業を中心に多様なステークホルダーを対象とした、ファッション・ビジネス・フォーラム2023を開催し、産地や業種を超えたマッチングを促すとともに、有識者や支援機関等の意見を抽出することで、新たなビジネスモデルの創出や産地企業の稼ぐ力の向上に向けた具体的な方策を調査・検討する。

具体的には以下を実施。

(a) 日時

2023年1月31日（火） 13:00～14:50

(b) 場所・形式

場所：東京国際フォーラム ホールD5 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

形式：ハイブリット

(c) 内容

(1) 繊維産地サミット

繊維産地を有する地方公共団体と国が連携し繊維産地の活性化を後押しすることを目指す、繊維産地サミットを実施。合わせて繊維産地が抱える課題に対する支援ニーズを調査。

(2) 次代を担う繊維産業企業100選 選定証授与式

優れたビジネスモデルや優れた技術を持つ繊維企業等を発信し、取組を横展開することで、繊維業界の競争力の底上げを目的とした「次代を担う繊維産業企業100選」の選定証授与式を実施。

(3) 繊維産業支援等に関するパネルディスカッション

先進的な取組を行う繊維企業と有識者等によるパネルディスカッションを実施し、繊維産業企業の事業活動の参考となる情報を発信するとともに、支援機関が実施する支援策の紹介及び活用事例を共有。

合わせて、繊維企業が抱える課題に対する支援ニーズを調査。

事業実施内容

【開催日時】

2023年1月31日（火） 13時から15時

【開催場所】

東京国際フォーラム ホールD5（東京都千代田区丸の内3丁目5番1号）

【参加者】

一般来場者 98名

プレス関係者 9名

【プログラム】

TIME	Min	プログラム	内容	登壇者
12:30	30'00	受付、入場	会場オープン～適宜影ナレ ※12:50～配信スタート	影ナレ
本番 13:00～14:50				
13:00	05'00	開会挨拶	司会コメント～ご登壇 開会挨拶	・経済産業副大臣 太田 房江様
13:05	20'00	繊維産地サミット 共同宣言	1. 開会宣言及び自治体出席者様のご紹介 2. 決意表明（首長挨拶(WEB有)） リアル1名、オンライン4名 3. サミット宣言読み上げ（採択）	・経済産業副大臣 太田 房江様 ・経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長 田上 博道様 ■首長 ・一宮市 市長 中野 正康様（リアル出演） ・泉大津市 市長 南出 賢一様（オンライン出演） ・泉佐野市 市長 千代松 大耕様（オンライン出演） ・西脇市 市長 片山 象三様（オンライン出演） ・今治市 市長 徳永 繁樹様（オンライン出演）
13:25	12'00	次代を担う繊維 産業企業100選 授与式	1. 審査委員長挨拶 2. 授与式 & 記念撮影	・東京大学大学院 経済学研究科 教授 新宅 純二郎様 ・経済産業副大臣 太田 房江様 ■受賞企業 ・浅野撚糸株式会社 代表取締役社長 浅野 雅己様 ・丸和ニット株式会社 代表取締役社長 辻 雄策様
13:37	13'00	休憩	-	-
13:50	55:00	パネル ディスカッション	MCからモデレーター、パネリストをご紹介 ⇒モデレーター主導で進行	■モデレーター ・東京大学大学院 経済学研究科 教授 新宅 純二郎様 ■パネラー ・浅野撚糸株式会社 代表取締役社長 浅野 雅己様 ・丸和ニット株式会社 代表取締役社長 辻 雄策様 ・中小企業基盤整備機構 販路支援部長 村上 裕二郎様
14:45	05'00	閉会挨拶	司会コメント～ご登壇 閉会挨拶	・経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長 田上 博道様
14:50	-	END		

1. 目的

繊維産地の活性化に向けて、産地を抱える地方公共団体と国との連携を強化することを目的とした。

2. 内容

(1) 決意表明

一宮市、泉大津市、泉佐野市、西脇市、今治市より産地の特色や課題、産地の取組等について表明。

表明事項として、繊維産地同士で連携し、新たな価値の創造や海外販路開拓を含めた発信等により繊維産業の発展を目指したいといったことが挙げられた。

具体的な表明内容は以下のとおり。

①一宮市

一宮市は尾州産地として、毛織物のブランディングに取組む。

産地の取組として、22年10月には、経済界が主体となり、地域おこしイベントとして「羊サミット」を開催し、オープンファクトリーや羊に関連する取組を実施。その他にも羽島市と連携して様々な取組を実施。加えて地域内の中学校の制服をプレザーに変更し、女学生はスカートとパンツを選択可能とするとともに、学生服メーカーとも協力し、地元の生地を制服のラインナップに追加した。地域の中学生在が地域の繊維産業の“すごさ”を感じる機会が増加するなど、地域の誇りとして繊維産業が大いに貢献している。

コロナ禍、エネルギー価格高騰、為替変動等が各地に影響を及ぼす中、産地が手を携え、地域の経済、地域の誇り、地域の活性化、地域の誇りに活躍してほしい。

②泉大津市

泉大津市は日本一の毛布のまちであり、国内毛布生産尾95%以上のシェアを誇る。

泉州は港町。激動の中にあるが、産地の取組として、シティプロモーション元年と位置付けて、新年度から始動。

80周年を機に様々なプロモーション活動を行う。毛布以外にも、毛織物、ニット、カーペットなどに技術を持つ。

作れば売れる時代ではないため、多品種少量型、ライフスタイル提案型への転換、更には起毛の技術を活用した人工芝の生産、SDG s の取組をするなど、新たな方向性を産官学連携して様々な取組を行う。

繊維産地間で協働し、今後の時代の新しい価値を生み出し、日本の産業の役に立てるようなまちづくりを目指したい。

③泉佐野市

泉佐野市は泉州タオルの産地。明治時代からタオルを製造し、130年以上の歴史があるまち。

和泉山脈からの豊かな水資源を基に、吸水性の優れた後更紙製法が特徴。

現在は2025年に開催される大阪関西万博に向けて、世界に通用する地域ブランドを目指しながら様々な取組を行う。

合わせて人材の確保・育成、事業承継、技術の継承を目的にオープンファクトリーなどを開催し、異業種交流に加え、地域の産地としての魅力を発信し、海外販路開拓に努める。関西国際空港に一番近い町である立地を生かし、世界に向けてタオルの販路拡大に取り組む。加えて、タオルの加工体験を通じての就労支援、就労人口の増加も実施。

産地同士の連携を通じて、泉州タオルのみならず、日本全体の繊維産業の発展に寄与したい。

④西脇市

西脇地は先染め織物、播州織の産地であり、生地を中心に展開していたが、近年はショールやワイシャツなど最終製品の創出を目指している。

西脇ファッション都市構想として、若手人材を産地に呼び込む取組を実施。またSDG s 未来都市に選定され、廃棄する糸をICタグで管理し販売するシステムを構築や再生可能なエネルギーの活用として、残糸や布を活用したバイオエタノールの生成、染色排水汚泥の肥料化など資源循環型のゼロエミッションの産地を目指している。

また、今後最終製品が6割ある産地を目指す。オールジャパンで日本の繊維産業の発展及び世界への発信していきたい。

⑤今治市

今治タオルの産地。かつて産地として生き残ることができるか、存亡の危機にさらされたことがある。

経済産業省のJAPANブランド育成支援事業を活用し、V字回復を果たし、今は世界中で愛されている。

一方、人口減少に端を発し、労働者の確保、技術の伝承、DXを活かした様々な分野における内製化など、多くの課題を抱える。

繊維産地同士で連携しながら今治モデルを日本全国、世界に発信するとともに、繊維産業を成長産業に、持続可能な産業としたい。

（２）繊維サミット宣言

繊維産地を抱える地方公共団体と国とが連携し、2020年代半ばに向けて、海外市場への販路開拓などによる輸出額の倍増を目指す、共同宣言を発出。

繊維産地サミット宣言

我が国の繊維産業は、国内の特定地域に生産が集中し産地が形成されてきた。域内には多くの事業者が存在し繊維産業のサプライチェーンが構成され、それぞれの産地で活況を呈してきた。しかしながら、近年では国内市場規模の頭打ち、製品輸入の増加、さらに足下では原材料価格・エネルギー価格の高騰から国内市場が一層厳しい状況にあることに加え、事業所数・就業者数の減少により、産地内サプライチェーンの維持が難しくなっており、産地の形成に影響が及んでいる。他方で、アジア地域における新型コロナウイルス感染症対策にかかる不安定な状況により、現地の製造現場が国内へと回帰する傾向も見受けられる。

一方、海外に目を向けると世界の繊維産業市場は今後も拡大することが見込まれており、また国内においても医療用途などの産業資材分野において繊維の可能性を発揮できる市場が拡大するなど、我が国繊維産業の成長への期待は極めて大きい。

この現状を踏まえ、2020年代半ばに向けた繊維産業並びに繊維産地の展望として、国と繊維産地を有する地方公共団体は、下記について共に連携し事業者をより一層支援することで、我が国の繊維産業、繊維産地、繊維事業者における成長と分配の好循環を創出し、新たな価値創造を次世代へつなげていく。

記

１．繊維産地並びに繊維事業者が好循環を創出するためには、需要獲得のための海外市場への販路開拓が必要不可欠であり、輸出額の倍増に向けた新たな製品開発への取組が重要である。また、成長が期待できる医療分野などの産業資材分野への進出や新たな顧客獲得となる産業観光への対応など地域に根ざした魅力ある繊維文化を通じた地産地消（産地エシカル）に取り組む国内需要の掘り起こし等も重要である。日本の強みである高品質、高感性、高機能性を生かした製品開発、新分野進出に向けた技術開発、国際認証の取得、リサイクルなど環境配慮や人権等のサステナビリティへの取組を推進する。

２．繊維産地並びに繊維事業者が好循環を創出するためには、人材確保・育成、事業承継並びに技術の伝承により繊維産地を維持・発展させ、就業人口の増大を図ることが重要である。労働環境・社内環境の改善、デジタル・トランスフォーメーション（DX）、省力化等生産性の向上を推進するとともに、施策の効果的な活用を通じ、オープンファクトリーへの取組など若い世代をはじめとする将来の担い手に対する地域に根ざした魅力ある繊維文化の情報発信（産地エシカル）の取組にも対応する。

３．繊維産地並びに繊維事業者が好循環を創出するためには、サプライチェーン全体での付加価値の拡大による、繊維業界での所得水準の増大が重要である。従来の商慣行の見直しや適正取引の推進、適切な原材料等の価格転嫁など事業者間の共存共栄を目指したパートナーシップ構築宣言について、繊維事業者1000社の宣言に向けた取組の機運を醸成する。

令和5年1月31日
繊維産地サミット

●産地エシカル

産地内での循環（ヒト：従業員／雇用、カネ：経済／消費、モノ：環境／教育／サービスなど）に配慮（特化）した考え方や行動原理

繊維産地サミット 出席登録一覧

※青色は首長出席者

※全サミット出席登録者については全員の出席を確認済み。

No.	自治体名
1	山形県
2	米沢市
3	栃木県
4	足利市
5	群馬県
6	桐生市
7	墨田区
8	新潟県
9	富山県
10	石川県
11	福井県
12	富士吉田市
13	西桂町
14	静岡県
15	浜松市
16	愛知県
17	一宮市
18	蒲郡市
19	津島市
20	羽島市
21	滋賀県
22	東近江市
23	京都府
24	京丹後市
25	泉大津市
26	泉佐野市
27	西脇市
28	和歌山県
29	倉敷市
30	井原市
31	福山市
32	今治市
33	広川町



1. 目的

優れたビジネスモデルや優れた技術を持つ繊維企業等を発信し、取組を横展開することで、繊維業界の競争力の底上げを目的とした。

2. 内容

次代を担う繊維産業企業100選 総評

昨年春に繊維産業ビジョン2030でサステナビリティ、デジタル化、新技術・新事業開発、海外市場展開といった問題について課題や取り組む方向性をまとめ、実際に課題に先進的に取り組んでいる企業を見えるようにしたいと思い、100選の企画を立てて行った。

サステナビリティ、デジタル化、新技術・新事業開発、海外市場展開の五分野でそれぞれの取組ごとに募集をかけ、全国から167社451の取組をご応募いただいた。451の取組はどれも五分野それぞれに先進的で魅力的な取り組みで、100選に選びたいものばかりだったが、審査の結果、109社の皆様を100選として選定させていただいた。

日本の繊維産業に限らず製造業は何十年逆境の中で日々の経営に取り組んでこられた。100選に応募された取り組みは逆境の中で色んな知恵を絞りだし、新しい技術・市場開拓などの能力構築に取り組んでいるものだった。その能力を日本の市場、海外の市場に花を咲かせていただきたいと切に願っている。

授与式の様子



次代を担う 繊維産業企業100選

北海道

1 株式会社水野染工場

岩手県

2 岩手モリヤ株式会社

3 株式会社京屋染物店

4 株式会社三和ドレス

秋田県

5 秋田ファイブワン工業株式会社

山形県

6 佐藤繊維株式会社

7 東北整練株式会社

8 株式会社ナカノアパレル

9 松岡株式会社

福島県

10 斎藤繊維株式会社

栃木県

11 ガチャマンラ株式会社

12 丸昌産業株式会社

群馬県

13 伊田繊維株式会社

埼玉県

14 サイボー株式会社

15 野川染織工業株式会社

東京都

16 有限会社エニシング

17 精巧株式会社

18 丸和繊維工業株式会社

19 株式会社レオン・インターナショナル

神奈川県

20 株式会社三笠

山梨県

21 株式会社寺田ニット

長野県

22 フレックスジャパン株式会社

静岡県

23 古橋織布有限会社

岐阜県

24 浅野綿糸株式会社

25 カワボウテキスタイル株式会社

26 岐セン株式会社

27 東海サーモ株式会社

28 三星毛糸株式会社

愛知県

29 アルデックス株式会社

30 大鹿株式会社

31 シンコー株式会社

32 高久染色株式会社

33 龍清興業株式会社

34 中伝毛織株式会社

35 藤井製絨株式会社

富山県

36 IAAZAJ ホールディングス株式会社

37 ケーシーアイ・ワープニット株式会社

石川県

38 カジナイロン株式会社

39 カジレーネ株式会社

40 山越株式会社

41 サンコロン小田株式会社

42 株式会社シラエ織産

43 能任絹株式会社

44 前多株式会社

45 丸井織物株式会社

福井県

46 井上リボン工業株式会社

47 ウラセ株式会社

48 永平寺サイジング株式会社

49 株式会社カズマ

50 酒伊編織株式会社

51 サカセ・アドテック株式会社

52 株式会社 SHINDO

53 大喜株式会社

54 トヨシマセンイ株式会社

55 株式会社ニットク

56 株式会社マルサンアイ

57 株式会社米澤物産

滋賀県

58 大塚産業マテリアル株式会社

京都府

59 大本染工株式会社

60 株式会社カラーアップ

61 株式会社川島織物セルコン

62 大東寝具工業株式会社

63 とみや織物株式会社

大阪府

64 株式会社アイトーブ

65 アイトス株式会社

66 旭紡績株式会社

67 大津毛織株式会社

68 金野タオル株式会社

69 三恵メリヤス株式会社

70 藤井若宮製絨株式会社

71 増見哲株式会社

72 三山株式会社

兵庫県

73 植山織物株式会社

74 有限会社玉木新雄

奈良県

75 株式会社ヴァレイ

76 岡本株式会社

77 株式会社鈴木靴下

78 西垣靴下株式会社

79 株式会社ニット・ウィン

和歌山県

80 株式会社インテリックス

81 株式会社エイガールズ

82 カネマサ製小株式会社

83 丸和ニット株式会社

84 吉田染工株式会社

鳥取県

85 株式会社石見銀山生活文化研究所

岡山県

86 株式会社明石スクールユニフォームカンパニー

87 有限会社内田縫製

88 クロキ株式会社

89 株式会社ショーワ

90 セイショク株式会社

91 有限会社ニヨンイチ

92 株式会社ベティミス

93 明大株式会社

広島県

94 株式会社アクセ

95 株式会社 Asahicho

96 坂本デニム株式会社

97 山陽染工株式会社

香川県

98 江本手袋株式会社

99 株式会社フクシン

愛媛県

100 IKEUCHI ORGANIC 株式会社

株式会社工房織座

七福タオル株式会社

西染工株式会社

丸栄タオル株式会社

渡辺パイル織物株式会社

福岡県

101 オザキブリーツ株式会社

102 龍宮株式会社

長崎県

103 株式会社エミメントスラックス

沖縄県

104 Cureslabo 株式会社

1. 目的

先進的な取組を行う繊維企業と有識者等によるパネルディスカッションを実施し、繊維産業企業の事業活動の参考となる情報を発信するとともに、支援機関が実施する支援策の紹介及び活用事例を共有することで、新たなビジネスモデルの創出に繋げることを目的とした。

2. 内容

(1) 事業紹介：浅野撚糸株式会社

1967年に紡績の下請けとして、撚糸の賃加工の会社を創業。現在は2代目。事業承継後、紡績業が衰退し、取引先が減少したものの、総合商社やメーカーとの取引を開始し、斜陽であった撚糸業においても業績を伸ばすことに成功。1995年には複合撚糸機を導入し、ポリウレタンをはじめとした複合撚糸のブームに乗ることができた。更には商社やメーカーからの要望を受け、協力工場含め約10億円を投資し増強。しかしながら2000年代に入り、商社やメーカーは中国にシフトしたため、仕事が激減。借金のみが残り、事業を継続せざるを得ない状況となった。その後下請けからの脱却と、中国と競合しないための、独自の技術開発を開始。2003年に「スーパーゼロ」(糸)を開発し、織布・ニットに展開したが下請けの域は越えなかった。そこで最終製品開発に取り組み、タオルメーカーと協力しタオル製造を開始。しかしながら価格帯が高く、軌道に乗らなかった。諦めず事業を継続し、「エアカオル」という独自ブランドを立ち上げた。国の補助金やマスコミからの支援を受け、現在は1,500万枚を売り上げている。

令和5年4月22日には福島にスーパーゼロの工場をオープン予定しており、今後はスーパーゼロの海外展開に向けて取組を進める。

(2) 事業紹介：丸和ニット株式会社

丸編ニット産地の和歌山に位置しており、昭和9年に創業。来年で創業90年となる。古くは肌着用のメリヤス地を作っていたが、高度成長期に量産衣料品のテキスタイル販売を開始。全盛期である1980年代には売り上げが50億を超えることもあった。しかし、90年代に入って大手SPAが台頭してきたことで、今までの量産品の製造体系から付加価値の商品を作っていくことが求められた。2000年に丸編に経糸も同時に編める独創的な機械を中古で購入。2年と1000万の改造費を費やしてクオリティを確立させ、独自の編地ブランド「Balancircular(バランサーキュラー)」を開始した。しかし、2000年代前半は、「高い」という評価で売れることはなかった。2000年代後半に百貨店系の大手アパレルでメインに使われることで国内のアパレル業に認知度が拡がり、2010年代には海外の有名ブランドにも生地採用された。2016年、バランサーキュラーの生地を使用したアパレルブランド「Bebrain(ビブレイン)®」を立ち上げ、ECを中心とした販売を開始。自社製品はジャパンベストニットセレクション2016でのグランプリ・経済産業大臣賞やGOOD DESIGN AWARDを受賞した。一般のお客様から販売場所の問い合わせがあり、全国の百貨店のポップアップストアへの出店や2020年には和歌山の本社工場内を改装し、ショールームを開設。2021年にはSDGs、地産地消、和歌山のニットが地場産業であることを知っていただくために工場の敷地を改装し、廃棄していたサンプル端やB端C端の切売りを一般ユーザーに向けて行う。

今後の課題としてはSDGs、海外販路開拓、ファッション衣料分野以外の展開、事業承継と様々あるが、一つ一つBtoB・BtoCの両輪で解消していきたいと考えている。

(3) 浅野撚糸株式会社の福島進出の狙い

福島進出の狙いとして、海外への発信拠点とすること。

特に、海外への発信については、設備の独自改良により製品への付加価値を創出するとともに、良い製品を自信をもって発信することが重要としたうえで、今後の双葉が盛り上がる勢いに乗りたい。

(4) 丸和ニット株式会社の事業承継

辻雄策代表取締役は2019年の11月の終わりに3代目から代表権を譲り受けた。

衣料品がコロナの影響で落ち込んだことでの人員整理が一番最初に行った仕事だった。代表取締役には従兄弟が3人おり、彼らがいたことで2代目の昔話や悩みを話すことができた。同業他社には身内がおらず悩みを抱えている人も多くいると思うので、繋がりを持ってお互いの強み・弱みを共有して前に進んでいかなければいけないと考えている。

（５）中小企業基盤整備機構の海外展開支援

中小機構の販路開拓メニューとしては「海外展開ハンズオン支援(相談から現地動向調査まで専門家が伴走支援)」「海外企業CEOと直接できる商談会」「eコマースの相談支援」などがあげられる。

また、中小機構とJETROが手を組み、中小企業を徹底的に支援する政策として「新規輸出1万者支援プログラム」があり、商工会、商工会議所、金融機関などから案件を持ち込んでいただき、新規輸出に挑戦する事業者に対して支援を行う。JETROのポータルサイトからカウンセリングを受け、中小機構による輸出相談(何から始めればいいのか分からない方向けの支援)・ものづくり補助金/持続化補助金、JETROによる支援(充実した商品を拡販する施策)の3つの支援策を提案する。このプログラムは政府の経済対策として2022年12月16日から来年度の3月まで続く。

（６）浅野撚糸株式会社、丸和ニット株式会社の海外展開

浅野撚糸株式会社

現在社外ディレクター・社外プロデューサーに加え新たにクリエイティブディレクターとして梶原加奈子さんに知恵をお借りし、サプライチェーンのコミュニケーションをどう繋げるかについてご協力いただき、方向を間違わないようにと進めている。

また、浅野雅己代表取締役は他所よりも儲けるということよりも、日本が手を組むことが力になると思っており、今の夢は双葉もしくは福島から世界へスーパーゼロを打って出たいと考えている。

丸和ニット株式会社

世界でも自社にしかないバランサーキュラーの技術があるが、直接貿易はできていないのが現状。1社では海外に攻めていくのはハードルが高いと考えており、日本アパレル・ファッション産業協会の「J∞ QUALITY」のジャパンブランド育成補助金を活用し、FACTORY BRAND PROJECTに参加。今年の1月にイタリアのフィレンツェで開催の「ピッティ・イマジン・ネ・ウオモ」に初出展、高い評価をいただく。今後は支援をご提案いただきながらバランサーキュラーを日本の技術として世界に発信していきたい。

アンケート調査結果

ファッション・ビジネス・フォーラム 2023

アンケート

Q.1 あなたの性別を教えてください。

☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない

Q.2 あなたの年齢を教えてください。

☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐その他 ☐回答しない

Q.3-1 あなたのお勤め先を教えてください。

☐繊維企業 ☐官公庁・自治体 ☐大学・研究機関 ☐医療 ☐繊維関係以外のメーカー
☐放送・通信 ☐交通 ☐小売り ☐観光 ☐その他

Q.3-2 Q3-1で「繊維企業」と回答された方は、業種を教えてください。

☐製糸・紡績・捻糸等 ☐織物 ☐ニット ☐染色 ☐製品製造 ☐卸売 ☐小売
☐その他

Q.3-3 あなたの属性（役職）を教えてください。

☐経営者 ☐管理職 ☐非管理職

Q.4 繊維産地サミットでは国と地方公共団体が連携し、繊維産地・繊維事業者を支援する「サミット宣言」を採択しました。

Q 4-1 このような取組について、あなたはどのように思いますか。

☐良い（どんどん進めるべき）

☐特に何も思わない

☐必要ない

☐その他（ ）

裏面に続きます。

Q.4-2 サミット宣言のうち、特に期待することはどれですか（複数回答可）。

- ☐ 高品質、高感性、高機能を活かした製品開発の推進 ☐ 新分野進出に向けた技術開発の推進
☐ サステナビリティへの取組推進 ☐ DX、省力化等生産性向上の推進
☐ 将来の担い手に対する地域に根ざした魅力ある繊維文化の情報発信（産地エシカル）
☐ パートナースhip構築宣言の繊維事業者 1000 社の宣言に向けた取組の機運を醸成

Q.5-1 パネルディスカッションはいかがでしたか？

- ☐ 大変参考になった
☐ やや参考になった
☐ 普通
☐ あまり参考にならなかった
☐ 全く参考にならなかった

Q.5-2 Q.5-1 で「あまり参考にならなかった」「全く参考にならなかった」と回答された方は理由をお聞かせください。

()

Q.6 今後の繊維産業政策としてどのような政策を求めますか？（複数回答可）

- ☐ 繊維産地間の連携 ☐ 事業承継等の促進 ☐ 海外展開に向けた体制構築
☐ 海外展開支援ツールによる後押し ☐ 繊維資源循環の取組強化 ☐ 環境配慮に関する取組強化
☐ 責任あるサプライチェーン管理の促進 ☐ 取引適正化の推進 ☐ EPA 等の普及・啓発
☐ 繊維技術開発支援ビジネスモデルの転換支援

Q.7 事業発展を企業単位、組織単位で推進しようとする際に、経産省を始めとする政府関係機関に対して、どのような支援施策等を求めますか？

()

Q.8 その他、フォーラム全体または経済産業省の政策全般に対して、ご意見があればお聞かせください。

()

<https://questant.jp/q/4HYD6QSQ>

ファッション・ビジネス・フォーラム2023アンケート

0 / 12

Q1. あなたの性別を教えてください。

*

☐ 男性

☐ 女性

☐ その他

☐ 回答しない

Q2. あなたの年齢を教えてください。

*

☐ 20代

回収数

リアル回収数	WEB回収数	合計
97件	40件	137件

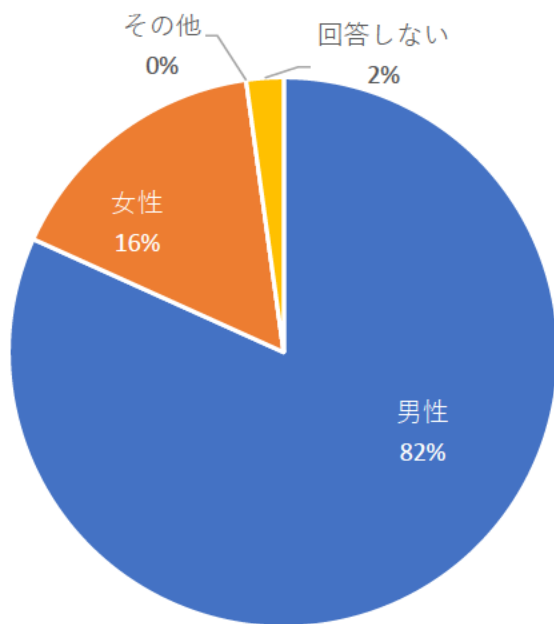
Q1 あなたの性別を教えてください。

回答数：137件

男性	女性	その他	回答しない
112名 (82%)	22名 (16%)	0名 (0%)	3名 (2%)

<内訳>

項目	男性	女性	その他	回答しない
リアル)回答数	86	10	0	1
WEB)回答数	26	12	0	2



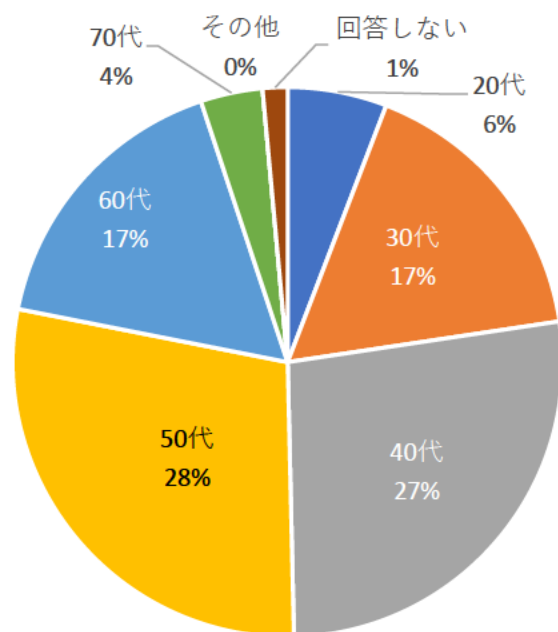
Q2 あなたの年齢を教えてください。

回答数：137件

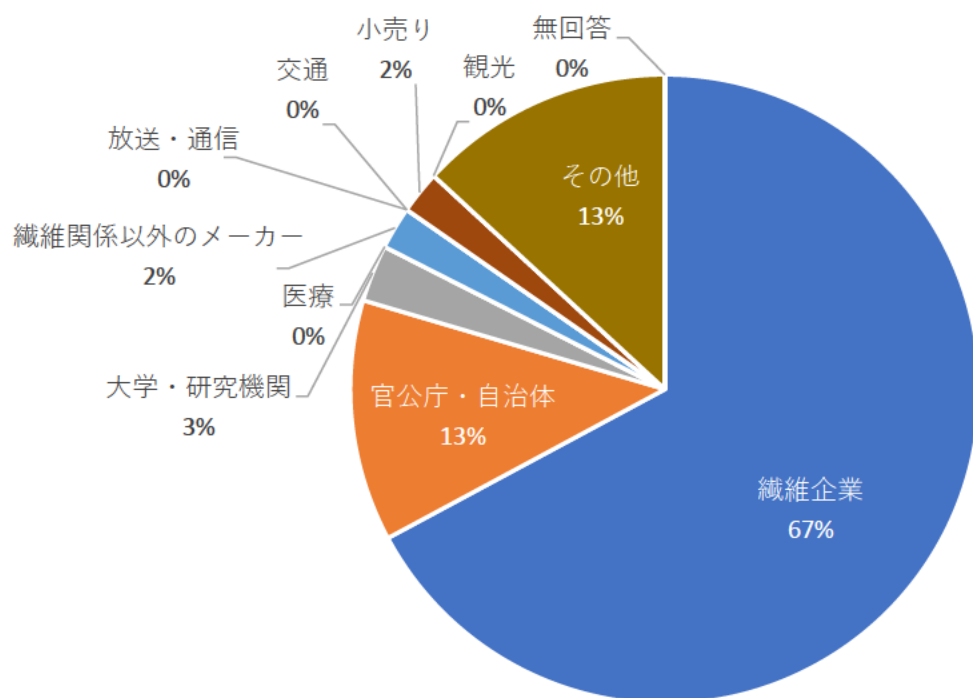
20代	30代	40代	50代	60代	70代	その他	回答しない
8名 (6%)	23名 (17%)	37名 (27%)	39名 (28%)	23名 (17%)	5名 (4%)	0名 (0%)	2名 (1%)

<内訳>

項目	20代	30代	40代	50代	60代	70代	その他	回答しない
リアル)回答数	5	17	26	26	17	5	0	1
WEB)回答数	3	6	11	13	6	0	0	1



Q3-1 あなたのお勤め先を教えてください。



回答数：137件

繊維企業	官公庁・自治体	大学・研究機関	医療	繊維関係以外のメーカー	放送・通信	交通	小売り	観光	その他	無回答
92名 (67%)	17名 (13%)	4名 (3%)	0名 (0%)	3名 (2%)	0名 (0%)	0名 (0%)	3名 (2%)	0名 (0%)	18名 (13%)	0名 (0%)

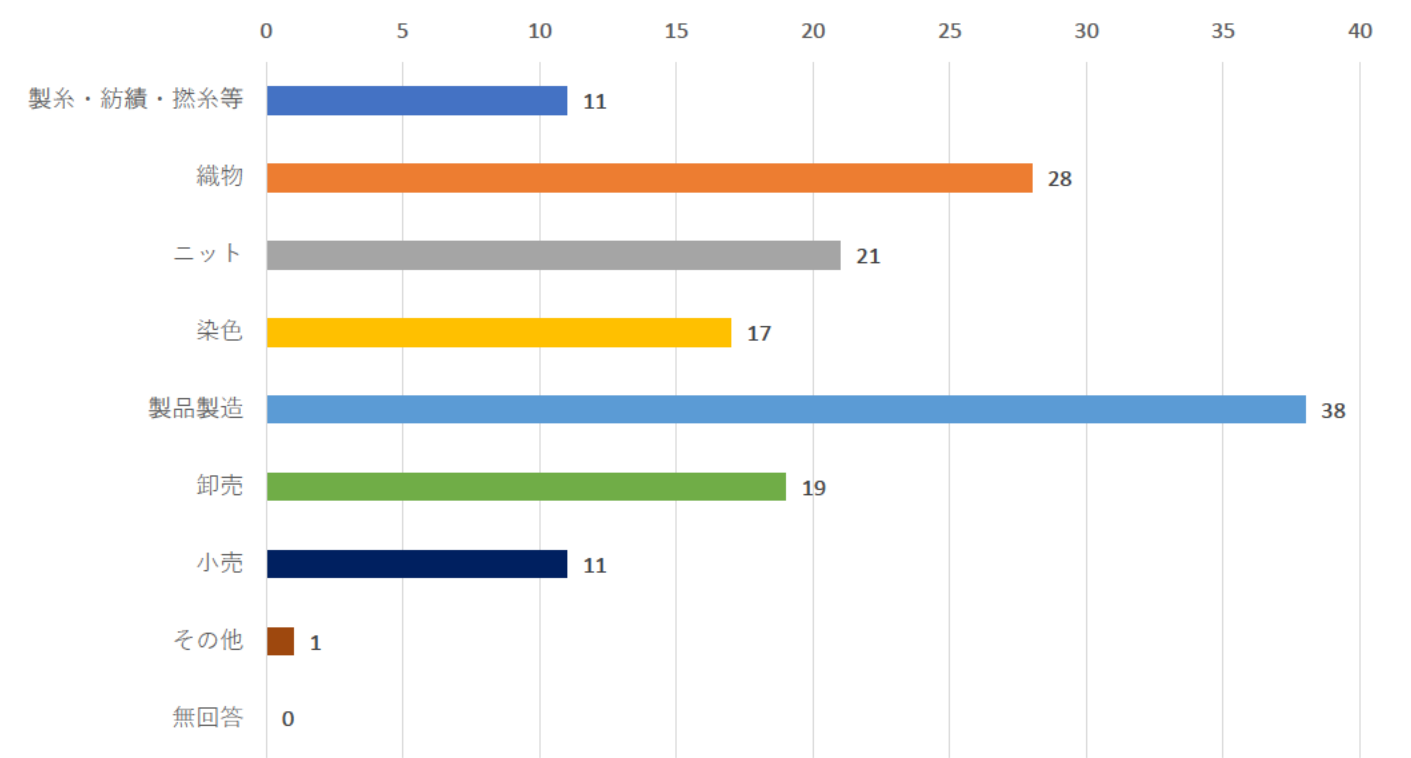
その他回答 ※記述回答の記載がある方のみ

- 繊維専門商社
- 広告代理、情報提供サービス業
- 業界団体
- 公益法人
- 繊維企業組合
- 繊維機械製造
- ファッション専門学校
- 繊維系団体

<内訳>

項目	繊維企業	官公庁・自治体	大学・研究機関	医療	繊維関係以外のメーカー	放送・通信	交通	小売り	観光	その他	無回答
リアル)回答数	81	3	1	0	2	0	0	2	0	8	0
WEB)回答数	11	14	3	0	1	0	0	1	0	10	0

Q3-2 Q3-1で「繊維企業」と回答された方は、業種を教えてください。



回答数：146件
※複数回答を含む

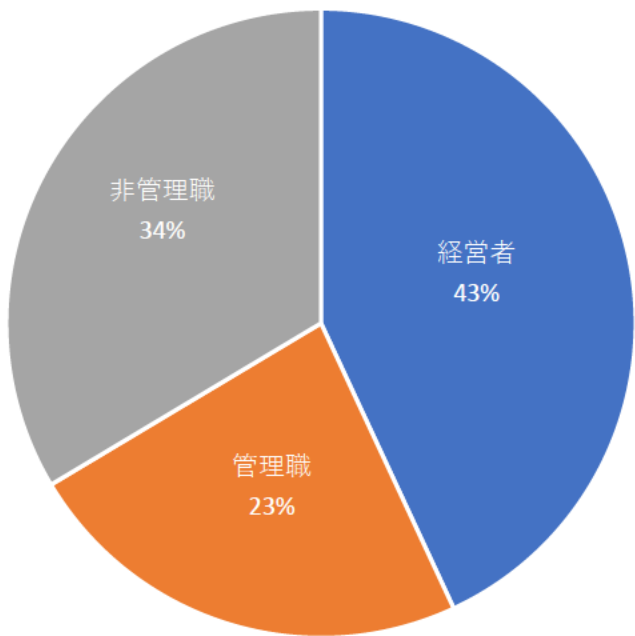
製糸・紡績・撚糸等	織物	ニット	染色	製品製造	卸売	小売	その他	無回答
11名	28名	21名	17名	38名	19名	11名	1名	0名

その他回答 ※記述回答の記載がある方のみ
● 商社

<内訳>

項目	製糸・紡績・撚糸等	織物	ニット	染色	製品製造	卸売	小売	その他	無回答
リアル)回答数	11	25	19	15	36	18	11	0	0
WEB)回答数	0	3	2	2	2	1	0	1	0

Q3-3 あなたの属性（役職）を教えてください。



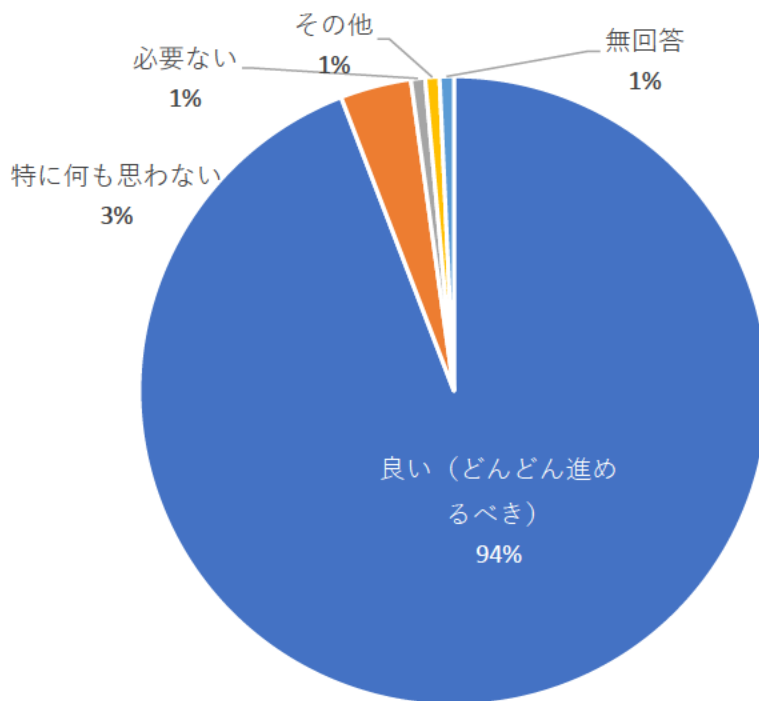
回答数：137件

経営者	管理職	非管理職
59名 (43%)	32名 (23%)	46名 (34%)

<内訳>

項目	経営者	管理職	非管理職
リアル)回答数	55	20	22
WEB)回答数	4	12	24

Q4-1 繊維産地サミットでは国と地方公共団体が連携し、繊維産地・繊維事業者を支援する「サミット宣言」を採択しました。
このような取組について、あなたはどのように思いますか。



回答数：137件

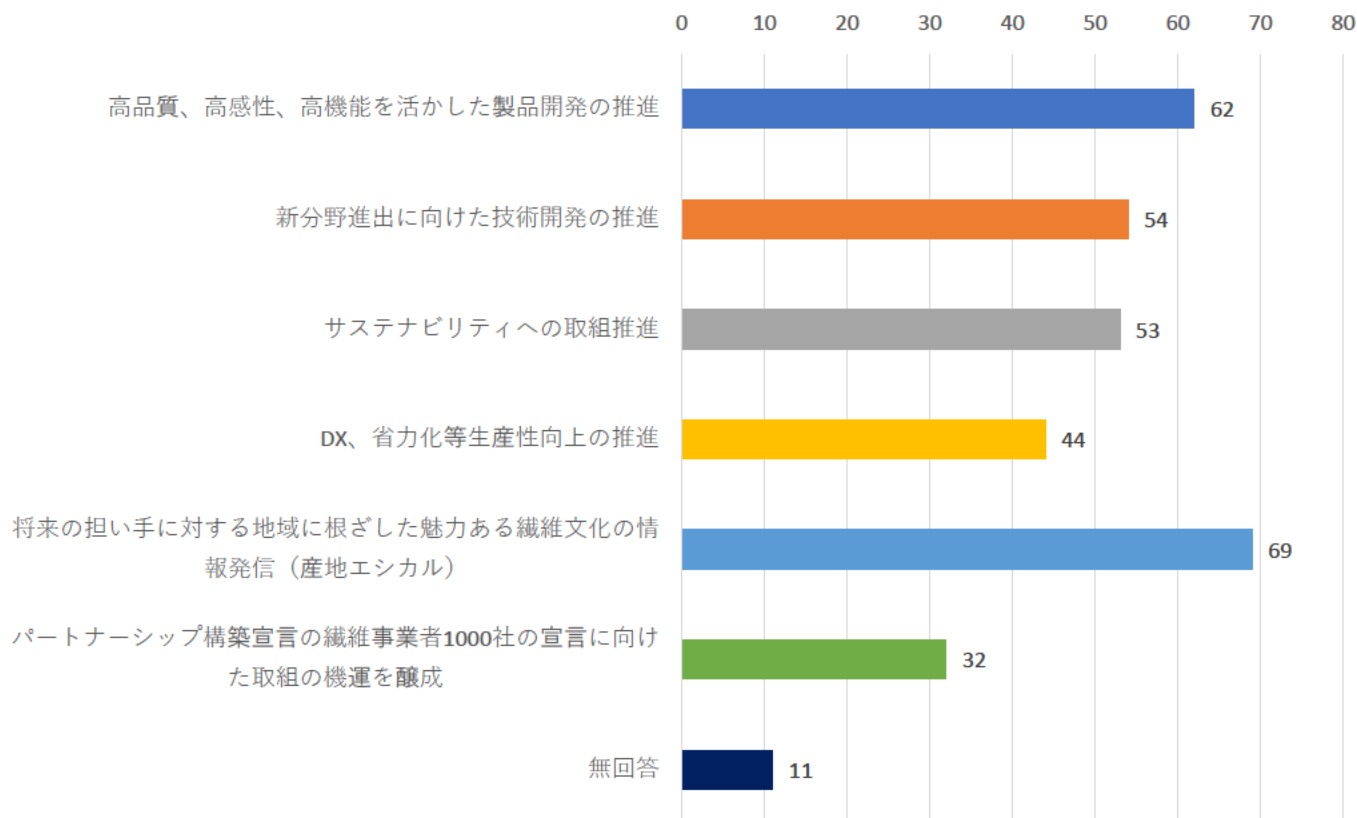
良い （どんどん進めるべき）	特に何も思わない	必要ない	その他	無回答
129名 (94%)	5名 (3%)	1名 (1%)	1名 (1%)	1名 (1%)

<内訳>

項目	良い（どんどん進めるべき）	特に何も思わない	必要ない	その他	無回答
リアル)回答数	91	3	1	1	1
WEB)回答数	38	2	0	0	0

国と地方公共団体の連携による支援については「良い（どんどん進めるべき）」との回答が大半を占めており、行政区画を超えた支援が求められていると考えられる。

Q4-2 サミット宣言のうち、特に期待することはどれですか（複数回答可）



回答数：325件
※複数回答を含む

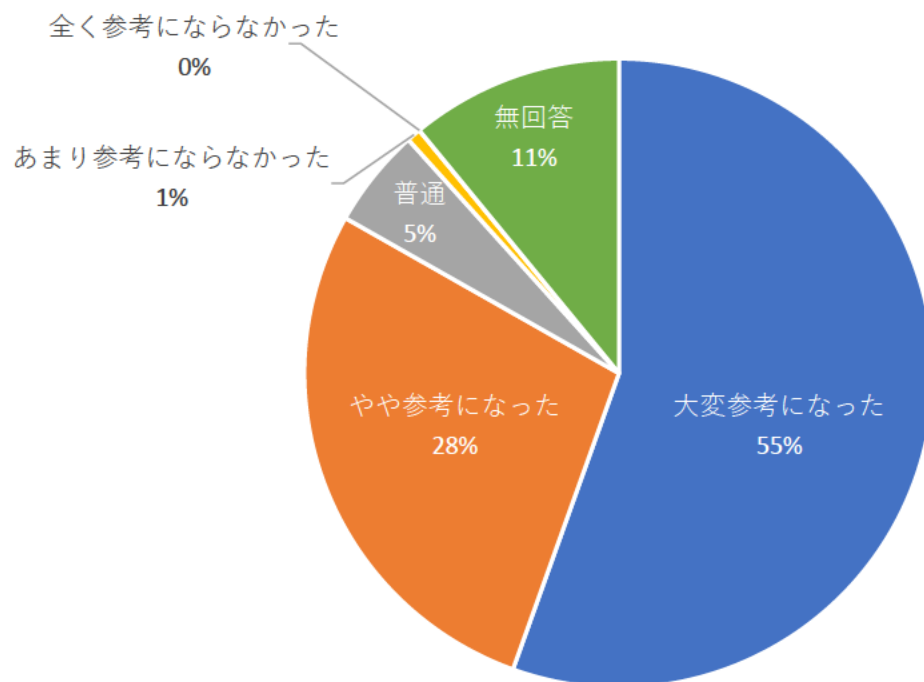
高品質、高感性、高機能を活かした製品開発の推進	新分野進出に向けた技術開発の推進	サステナビリティへの取組推進	DX、省力化等生産性向上の推進	将来の担い手に対する地域に根ざした魅力ある繊維文化の情報発信（産地エシカル）	パートナーシップ構築宣言の繊維事業者1000社の宣言に向けた取組の機運を醸成	無回答
62名	54名	53名	44名	69名	32名	11名

<内訳>

項目	高品質、高感性、高機能を活かした製品開発の推進	新分野進出に向けた技術開発の推進	サステナビリティへの取組推進	DX、省力化等生産性向上の推進	将来の担い手に対する地域に根ざした魅力ある繊維文化の情報発信（産地エシカル）	パートナーシップ構築宣言の繊維事業者1000社の宣言に向けた取組の機運を醸成	無回答
リアル)回答数	37	39	33	26	47	22	11
WEB)回答数	25	15	20	18	22	10	0

産地エシカルの促進と日本の繊維産業の強みである高品質等を伸ばす支援に特に求められていることが伺える。

Q5-1 パネルディスカッションはいかがでしたか？



回答数：137件

大変参考になった	やや参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
76名 (55%)	38名 (28%)	7名 (5%)	1名 (1%)	0名 (0%)	15名 (11%)

<内訳>

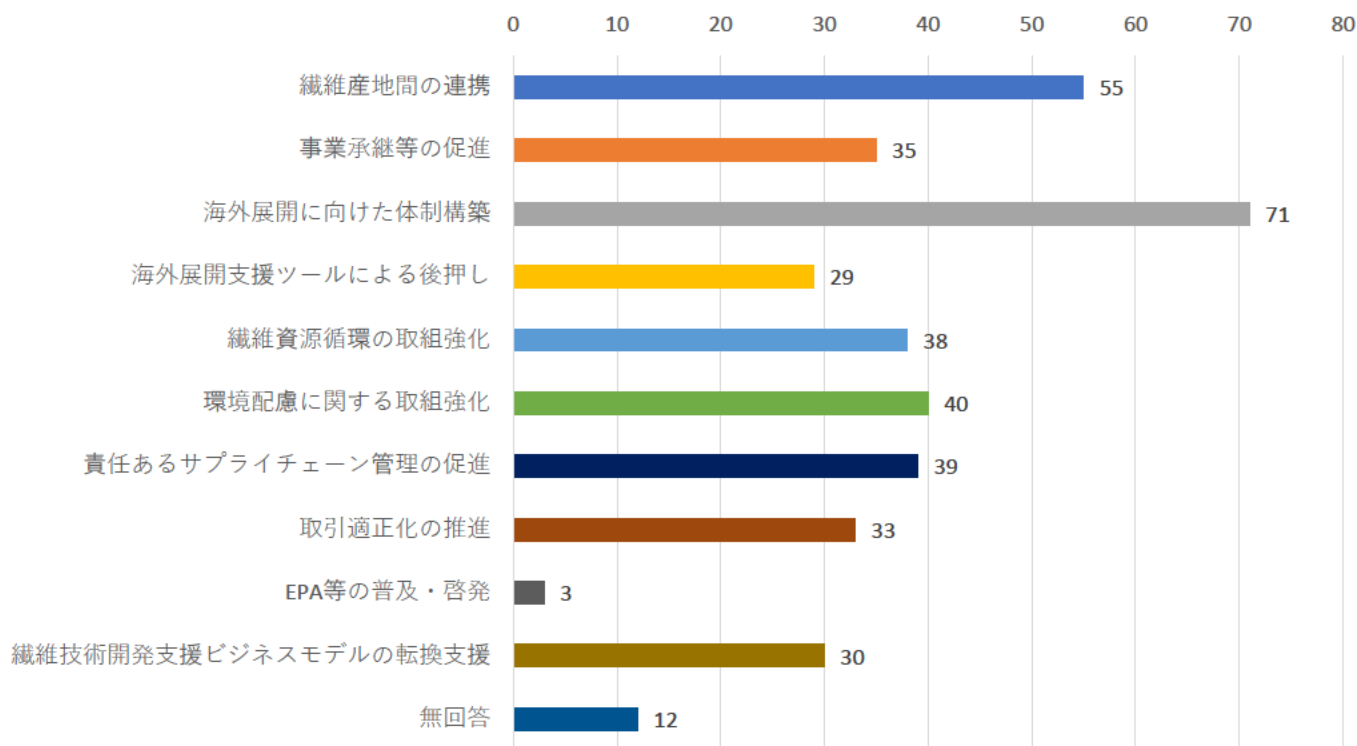
項目	大変参考になった	やや参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答
リアル)回答数	53	26	2	1	0	15
WEB)回答数	23	12	5	0	0	0

Q5-2 Q5-1で「あまり参考にならなかった」「全く参考にならなかった」と回答された方は理由をお聞かせください。

回答数：1件

- 今までの話で先のDXに対して参考にならなかったから。

Q6 今後の繊維産業政策としてどのような政策を求めますか？



回答数：385件
※複数回答を含む

繊維産地間の連携	事業承継等の促進	海外展開に向けた体制構築	海外展開支援ツールによる後押し	繊維資源循環の取組強化	環境配慮に関する取組強化	責任あるサプライチェーン管理の促進	取引適正化の推進	EPA等の普及・啓発	繊維技術開発支援ビジネスモデルの転換支援	無回答
55名	35名	71名	29名	38名	40名	39名	33名	3名	30名	12名

<内訳>

項目	繊維産地間の連携	事業承継等の促進	海外展開に向けた体制構築	海外展開支援ツールによる後押し	繊維資源循環の取組強化	環境配慮に関する取組強化	責任あるサプライチェーン管理の促進	取引適正化の推進	EPA等の普及・啓発	繊維技術開発支援ビジネスモデルの転換支援	無回答
リアル回答数	38	21	49	15	22	24	18	20	3	24	12
WEB回答数	17	14	22	14	16	16	21	13	0	6	0

海外展開に向けた体制整備及び繊維産地間の連携に係る政策が特に求められていることが伺える。

Q7 事業発展を企業単位、組織単位で推進しようとする際に、経産省を始めとする政府関係機関に対して、どのような支援施策等を求めますか？

回答数：42件

- 繊維産業に向けた手厚い補助
- 商品化を目的としたバイオ素材の開発についての支援。商品を循環するためのアイデアを具体化、実施するための補助金支援。
- 使いやすい、分かりやすい、現実感のある支援策。それをきちんと周知すること。
- 中小企業が生き残り、発展する為のサステナビリティ、デジタル化への取り組み支援を、さまざまな角度から力強く後押ししていただきたいです。
- サプライチェーンの強化が求められているがなかなか進まない。当事者に任せるだけでは無く、具体的な取組に対し政府による支援策が欲しい。
- 先ずは補助金でしょうか。
- これまでの延長ではなく、新たなビジネスモデル構築に向けた自由度の高い補助制度
- 補助金の申請を簡単に出来る様に、助成率高く希望します。
- 海外販売支援
- 国内産業強化のための工場設立等の投資支援
- 補助金等の支援
- 素材、縫製工場、パターン・デザイン等から販売まで、海外販売を行うにあたり、全ての工程にクリエイティブが重要となっている。建物、機会全ての支援が必要
- 事業全体を補助する支援
- 編機の購入支援をお願いしたいです。
- 現在、政府で最優先に取り組んで頂いている第1の問題は少子化。民族の多い、インド、中国、アフリカ諸国に勝利するためには技術の高付加価値化が必要。それら新技術開発のための支援を。
- 補助金、ハンズオン支援
- 企業間の横の繋がり支援
- 海外展示会等の補助金や案内、地域産地への補助金等(エネルギー高騰や資料高騰で)工賃が高くなり、物が日本で作れない状態になりかけている。
- 補助金制度が浸透しておらず、補助金制度の周知施策。
- シーズ開発段階における技術への資金援助および人材投資
- 新しい取組、コラボ、事業者間連携に対する積極的な支援。(特に海外に向けて)
- 以前はポリエステル繊維のリサイクル可能な工場があったが無くなり、リユースが残った。リサイクル可能な設備のあるメーカーの支援を望む。
- 日本の産地の良い物をアピールする機会を増やしてほしい。
- 日本の技術をもっと取り上げてほしい、動脈・静脈今までの技術でなく、新たなバリューチェーンの技術もあると思います。つなげて欲しい。
- ブランディングのサポートをお願いしたい。
- 日本のものづくりへの市場回帰の雰囲気醸成。
- 国内のパートナーシップ、クリエイターのセッティング。
- エネルギー高騰対策。(ガスでなく) 石炭を熱源とする繊維製品に対する輸入障壁を設ける。
- ファッション専門学校職員ですが、就職したい学生と人材不足に悩んでおられる企業様をつなげる機会作りの場や情報提供を増やしてほしいと思います
- 各種事業申請の簡素化(ただし結果検証については厳密化)
- 工場の過酷さを、何とかできないものか？と、いつも考えています。寒さや暑さ。
- 頑張る繊維企業、メディアで紹介して欲しい
- 市場から出る衣料廃棄物、工場から出る衣料廃棄物のリサイクル・リユースのプラットフォーム構築を期待しています。
- ひつじサミット尾州のようなさんぎょうかんこうの後押し
- 繊維企業における特定技能制度
- プラットフォーム等の開発によるDX推進
- 電気代の高騰に対して、対策する事。
- 他の中小企業との取組や共催
- 可能性はまだ低いですが、新しく面白い取り組みにも是非目を向けて欲しい。
- 他産業とのコミュニケーション
- 人材不足による問題改善

海外展開、サステナビリティ、技術開発に関する政策を求める声が多かった。また、支援策の効果的な広報や活用のしやすさなどに対する要望も寄せられた。

Q8 その他、フォーラム全体または経済産業省の政策全般に対して、ご意見があればお聞かせください。

回答数：33件

【フォーラム全体に関するご意見】

- 100選になった企業の展示会をして欲しい、横の連携も可能になる
- 産業全体に向けたものではなく、まずは今日の100社のようにしっかりとした強みをもつ企業に絞ってダイナミックな支援を望んでいる
- Q4-2について、担い手の確保については宣言の3つ目にある「付加価値の拡大による所得水準の増大」が重要なのではないかと感じた。
- 業界全体が前向きに活気づく良い取り組みだと思います。是非継続をお願いします。
- 100選の応募がいつあったかも知らなかった。
- 海外へのBtoCへの重要さを感じる
- 企業100選につきましては、内定通知の際に今後の活動予定計画をご案内いただくと企業としての広報活動と連携しやすいと感じています。
- 継続してください。
- 繊維業界の各組合や団体での参加をして頂き、情報共有しても良いのではと思いました。
- 経済産業省、JETRO、文化庁等、それぞれCOOL JAPANプロジェクト等を熱心に発信して頂いているものの、何となく別々の対応でこれらがひとつにまとまれば大きなパワーになると考えている。フラットな取り組みを再考して効率化を図って欲しい。
- 愛知岡崎の企業で主に繊維系の再利用を主とした仕事をしていますが、産地の事業の衰退が酷く困っています。再利用の大きな流れを作っていただきたい。
- 職人の保護と育成、繋がりをフォーラム内でマッチングしたら面白そう。名業種の(織り、染色、撚糸等)代表から話が聞けると良い。
- 今回のパネルディスカッションはとても勉強になりました。
- 繊維リサイクルに関する検討会の広範囲なアピール・個別技術の紹介が無ければ、技術の凄さが感じられず残念
- 100選に選ばれた企業に向けた海外向けに認定証を作って貰えるとありがたいです。
- 目的がいまいち見えない部分があり、不安
- 今回のような形式的な大きな催しも悪くはないが、もっと具体性を持った分科会的な催しを多数開催して、事業者に寄り添った支援への道筋を多く示してほしい。
- 知識の共有化のためにも、もっと積極的にフォーラム開催及び視聴を勧めてもよかったと思う。
- 今回のフォーラムは企業の皆さんが、辛かった経験やその時々感じた気持ちを素直に語っていて、本当のことを言葉にしている、とても心に響きました。今後、認知度の変なアドバイザーやディレクターにお金が行き過ぎないようにして欲しいです。糸編の宮浦さんのような若く、どこにも属さず、足で情報に触れている人を大切にしたいです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ほどほどの成功例を多く紹介しては如何でしょうか。

【繊維産業全体に関するご意見】

- 繊維企業、特に工場の廃業を極力無くす為に、横の繋がり、ネットワークづくりが出来ればと思います。
- 政策の具現化、実績作り・サプライチェーンの出口であるアパレル、小売りの会社のこういった事業に対する理解促進。
- 万博に向けて日本の繊維産業の在り方がしっかりPR出来るようにしたい。
- メイドインジャパンのものづくりを支えて欲しいです。中小企業では難しい海外への進出、契約や広報支援もお願いしたいと思っています。
- コロナ禍により、繊維製造現場は人員削減や事業縮小が実施され、かなり打撃を受けている。補助金に頼った操業で体力もかなり低下している。早急に実態の調査を行って欲しい。

【その他ご意見】

- 今後よろしくお願いいたします。繊維業界のメーカーではないですが、色々新しい取り組みと一緒にやっていきたいです。
- 良い機会をありがとうございました！
- この度はフォーラムへご招待いただきありがとうございました。
- 繊維産業の発展を祈念いたします。
- ありがとうございました。恥じないように頑張って進んで参ります。
- エネルギー高騰対策。
- 100選に選出していただき大変感謝しております。この栄誉を活かせるよう、ご支援をお願いいたします。ありがとうございました。

TOPPAN